

児童発達支援事業所における自己評価結果(公表)

公表:令和 5年3月30日

事業所名 リンク大和東教室

		チェック項目	はい	いいえ	未回答	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	4			・活動に合わせ広いスペース、個室の落ち着いたスペースを使い分けている。また、広いスペースであってもついでで困う事で集中しやすい環境設定をしている。	
	2	職員の配置数は適切である	4				
	3	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっている。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている	3	1		・扉の部屋番号に加え動物のイラストで分かりやすくしている。 ・トイレ、下駄箱などイラストで掲示。危険なところはマークで示している。	・トイレ前の段差に色テープを貼るなど注意をうながす。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっている。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている	4			・子ども達が集中しやすいように視覚情報は最低限にして、スッキリとした環境作りを心掛けている。また、定時、定期の清掃に加え、必要に応じて清掃・環境整備等おこなっている。 ・療育ごとに換気や消毒を実施。気温、湿度設定もこまめに行っている。	
業務改善	5	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	4			・各職員が意見を発信できる機会が設けられている。	
	6	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	3	1		・すみません。わかりません。 ・ニーズをケア記録管理者に報告し、支援の方法を共有している。 ・保護者様のご要望など職員間で共有し、その都度、対策を立てている。	
	7	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している	3	1			
	8	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている		4			
	9	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	4			・職員の専門分野を生かし職員間で研修の機会を作っている。また、外部の研修にも参加する機会が得られる。 ・セラピストの見方、支援を共有している。 ・様々な職種の研修も企画されている。外部研修に関しても、推奨されている。	・スタッフの研修時間の確保。
適	10	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している	4			・アセスメント、モニタリング等をもとに、多くのスタッフが計画の作成の為に会議に関わり、多面的に支援計画を作成している。 ・各職員で意見を出し合い(プラン会議)、計画書を作成。	
	11	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用している	4			・太田ステージを実施。	
	12	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	3	1			
	13	児童発達支援計画に沿った支援が行われている	4				

		チェック項目	はい	いいえ	未回答	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
適切な支援の提供	14	活動プログラムの立案をチームで行っている	4			・療育プログラム表をもとに担当したスタッフが必要に応じて加筆修正を加え、情報共有をおこない、常に子どもの実態に合った療育が出来るよう心がけている。	
	15	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	4			・短期目標が達成できるよう、スモールステップで課題を設定。クリア出来たら更新をかけ、発達に合わせた細やかなプログラムを心がけている。	
	16	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成している	2	2		・事業所の性質上	

		チェック項目	はい	いいえ	未回答	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
	17	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	4				
	18	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	4				
	19	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	4				
	20	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している	4				
関係機関や保護者との連携関係機関や保護者との連携	21	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	4				
	22	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている	3	1			
	23	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っている		3	1	・医療的ケア児の支援なし	
	24	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えている		3	1	・医療的ケア児の支援なし	
	25	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚園)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	3	1			
	26	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	3	1			
	27	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	4				
	28	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会がある	1	3		・営業などで状況をききとり反映している。	
	29	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加している	2	2			
	30	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	4			・毎回療育終了後のフィードバックの時間を設け、保護者様と発達の状況や課題について共有し、共通理解をはかっている。	
31	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っている	4			・相談支援 ・日常生活での困りごとについてのフィードバックにて対応方法や家庭で取り組める事についてのアドバイスをしたり、家庭での様子を動画で送っていただき、家庭の環境設定等のアドバイスもおこなっている。		
32	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	4					
33	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ている	4					

		チェック項目	はい	いいえ	未回答	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
保護者への説明責任等	34	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	4			・フィードバック時に相談に応じている。また、じっくりと相談した方がよい案件については相談支援をオススメしている。	
	35	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	1	3			・イベント等を企画し、連携を支援する機会を増やす
	36	子どもや保護者からの相談や申し入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申し入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している	4			・子どもや保護者からの相談や申し入れについては、速やかに児発管に報告と適切な対応の指示をあおいている。	
	37	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	4			・新聞、LINEにて情報を発信している。	
	38	個人情報の取扱いに十分注意している	4				
	39	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	4				
	40	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	1	3			
非常時等の対応	41	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している	4				
	42	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	3	1			
	43	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認している	4				
	44	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	4				
	45	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	4			文書で残すほか毎月の定例会議でも報告し、共有している。	
	46	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	4				
	47	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載している	4				

○この「事業所における自己評価結果(公表)」は事業所全体で行った自己評価です。